



昔あそびで「子どもまつり」を応援



ひたち国際文化まつりに参加



日本最古の地層を巡るジオハイキング



田尻コミュニティとの連携講座

百年塾では市民の生涯学習のお手伝いやまちづくり活動等、様々な事業を行っています。その中には一般市民も参加し、活動するプロジェクト事業もたくさんあります。どうぞお気軽にご参加ください。

【123号の主な内容】

- | | | | |
|------------------|---|-----------------|---|
| ■明秀学園高校の「自己探求課外」 | 2 | ■「空缶風車」で地域を元気に | 3 |
| ■看護の道へ決意も新た | 2 | ■マレーシアの留学生 | 3 |
| ■シリーズ 私のお気に入り | 2 | ■コミュニティ訪問 仲町学区 | 3 |
| ■バルーンアートに夢のせて | 3 | ■百年塾のH27年度事業着々と | 4 |

百年塾の主なイベント(1~3月) 詳細は百年塾サロンにお問い合わせください

- もっと日立新発見!郷土日立の埋もれた歴史遺産をたずね、案内人による講座
 - ・1/14,21(木) 10~12:00 ・教育プラザ、1/28(木) 9~16:00 ・歴史遺産の現地研修 ・30名
- 「安心でおいしい地魚をもっと食べよう!」講演と試食の会
 - ・1/17(日) 9:30~13:00 ・会瀬青少年の家 ・募集 こども20名、大人30名 ・参加費無料
- 働く独身男女の交流「クッキングパーティー In ウィンター」
 - ・1/30(土) 17~20:00 ・シビックセンター4階料理室 ・募集 男女各15名(40歳まで)
- 推進幼稚園・小・中学校報告会
 - ・2/20(土) 13:30~15:40 ・教育プラザ・ギャラリーA

誇りを持って目指す道へ

自分のやりたいことが見つかることはとても大切であり、幸せなこと。学校生活の中で学びやさまざまな体験を通してそれらを探したり、自分の道に向かって進む高校生・学生たちをご紹介します。

日本を知って世界を目指そう 明秀学園日立高等学校

今年度創立90周年を迎えた明秀学園日立高等学校は、創部20年で悲願の全国大会への出場を決めたサッカーチームをはじめ、運動部・文化部ともに全国大会や各大会への出場・入賞を目指し活発な部活動が行われています。

同校には私学独自の『自己探求課外』があり、運動・文化・教養、進路などの講座が設けられています。それらを通じて自分の関心を追求、部活動や学習を深めながら



フレッシュなダンス部

自己発見を目指します。校長の中原昭先生は、「自己探求課外で選択肢を広げ、能、狂言、茶道などの日本文化にも大いに興味を持つてもらいたい。我が国に代々伝えられた『人として』の基本理念を

しっかりと学び、日本人の誇りを持って海外にも飛躍できる人材を育てたい」と話します。

ボランティア活動も活発で、地域のさまざまなイベントにも積極



的に参加。「ひたち生き生き百年塾フェスタ」にも長年にわたってスタッフとして大勢の参加があり、イベントを盛り上げるなど大きな力を発揮しています。

看護の道へ決意も新た

平成27年10月22日、日立メディカルセンター看護専門学校で准看護科第46回生の戴帽式が行われました。

戴帽式は、看護師のシンボルで



キャンドルを手に誓いを

2015.10.22

もあるナースキャップを受けることによって、看護という職業に対する意識を高め、責任の重さを自覚するための儀式です。

担任の先生から一人ひとりナースキャップをつけてもらった学生たちは、ナイチンゲール像から灯りを受け取り、キャンドルの明かりの中で、看護に対する心構えを説いたナイチンゲール誓詞を唱和します。看護師を目指す学生にとって厳かな戴帽式は最も感動する儀式であり、看護師としての心構えと決意を新たにする時もあります。

茨城県の中で看護師が不足していると言われている県北ですが、真摯に医療と向き合い、患者さん



初めての白衣姿も清々しく

に心から寄り添うことのできる看護師を目指して日夜勉学と実習に励む学生たちが、これから地域医療を支えてくれることが期待されます。

私たち百年塾運動を応援します

2015.11.9

【個人】藤崎圭一郎

シリーズ 私のお気に入り

助川山でご来光を見よう

助川山は、平成3年3月7日の大規模な山火事を契機に、日立市が整備を開始し「助川山市民の森」として広葉樹を中心とした明るい公園へと生まれ変わりました。

海拔328mですが、山頂からの



助川山山頂からの初日の出

眺めは最高で、澄んだ空気、風のそよぎ、鳥のさえずり、多様な生物の生息も確認されて大自然を満喫できる絶好のスポットです。秋から冬にかけての晴れた日には、遠く鹿島臨海工業地帯、鹿島スタジアムを見る事が出来ます。

元日の朝、ご来光を見ようとたくさんの方が山頂を目指します。まだ来たことが無い方、ぜひ一度足を運んでみてください。

(助川山保全くらぶ 河野秀一)

平和町一丁目の六地蔵

日立駅中央口「平和の鐘」から山側に約550歩行くと、駒米共同墓地の六地蔵に出会えます。ここ

は、地獄の一丁目ではなく、平和町一丁目です。赤い帽子を被った姿はとてもかわいらしく、地元の



おだやかな顔で見守る

方の優しいお気持ちが偲ばれます。駅の近くにこんな心なごむお地蔵さまがいるのは全国的にも珍しいそうです。迷い苦しんでいる人々を救うのが六地蔵といわれ、インドや中国には無い日本独特の信仰のようです。(本宮町 高口定雄)

笑顔を見るのがうれしくて

バルーンアートに夢のせて 田島マスミさん

市民カレッジ4期生（2011年）の田島さんは百年塾フェスタに参加し、同期生に教えて貰ったのがバルーンアートを始めたきっかけです。その後も本やインターネットで勉強し、その時の同期生7人で交流センター、小学校、さくらまつり、フェスタなどで作り方を教えたり、作ってあげたりして



百年塾フェスタでの田島さん（左端）



可愛い作品たち

います。作品はプードル、刀、キリン、ネズミなど1本の風船で作るものから、スヌーピー、ドラえもん、アンパンマンなど2本以上の色の違う風船で作るものがあります。多い時で100人の子どもたちを相手に、事前に100～200

います。作品はプードル、刀、キリン、ネズミなど1本の風船で作るものから、スヌーピー、ドラえもん、アンパンマンなど2本以上の色の違う風船で作るものがあります。多い時で100人の子どもたちを相手に、事前に100～200

個を作るそうです。現在はくまのプーさんに挑戦中で、子供たちの喜ぶ顔が嬉しくて頑張っていられると話します。

「空缶風車」で地域を元気に 森山久雄さん

昨年10月に開催された水木秋まつりでひときわ目を引いたのが「空缶風車」でした。空缶で作った風車が風を受けてキラキラ輝きながら回っていました。

みんなに喜んでもらえたらとの思いから、昨年末にインターネットで探した作り方を見て始めたそうです。もともと手先が器用だった森山さんは、2ヶ月ほどで基本技術を習得し、以降工夫を重ね、独自の作品を手掛けています。ソーラー電池で光るものや、ちょっと豪華な木枠を付けたものなどオリジナル作品も多くあります。



ため、子どもたちは歓声を上げて走り回っていました。大抽選会もあり、入場料を含め千円で大人も子どもも参加できるため大盛況で、約230人の参加となり（昨年は180人）、開場前から大勢が並んでいました。通常の日曜日でも1日約200人程度ですが、当日は約2倍の入場が予想されスタッフも3割増員し、対応しているとのことでした。

仲町の福地会長は、仲町学区内からの参加が約6割なので、次回は他学区の参加者を増やしたいと話していました。大抽選会では5学区ごとの会長賞がミカン一箱で、仲町学区では4年生の林田昂大君が当たって大喜びしていました。

仲町学区は他にも文化祭、納涼祭り、体育祭など活発に事業を行っています。

す。外出した時に、お店できれいな缶を見つけると買って集めておくそうです。作った作品は知人のプレゼントなどにして喜ばれていると話します。

広まりつつある「空缶風車」ですが、市内ではまだ少なく、より多くの人に見て貰い、作り方も教えたいと新たな作品づくりに励んでいます。

四季に感動！

マレーシアの留学生

4年前にマレーシアから来日し茨城大学工学部で勉学に励んでいるアジジさんとハズリンさん。

留学のきっかけは、アジジさんは子どもの頃から『ドラえもん』などを見て日本文化に興味をもったこと、ハズリンさんは機械が好きで日本の車の技術を学びたかったそうです。

日本では冬の厳しさを含め四季変化のすばらしさやいろいろな祭があつて興味深いこと、自動販売機がいたる所にあって便利なことなどが印象的だそうです。電車がどこでも利用できるのも母国とは大違い。ただ東京の夜の電車には乱れた酔っ払いが多く、宗教上酒に縁のない彼らには驚きだそうです。

卒業後、アジジさんは母国日の系企業で働き日本で学んだことを



アジジさんとハズリンさん

生かしたいと、ハズリンさんは大学院に進学し、将来日本や母国で専門分野の車関係企業で働きたいとの夢をもっています。また卒業時に家族が来日したらぜひ富士山や国営ひたち海浜公園を案内したいそうです。

当初は心配していた言葉の壁を乗り越え、流暢な日本語で話してくれたのが印象的でした。

シリーズ コミュニティ訪問⑩ 仲町学区コミュニティ推進会

今年度で7回目になる仲町フェスタ・イン・かみねレジャーランドが11月29日に開催されました。最初は仲町学区内の開催でしたが、



響きわたる子どもたちの歓声

人気が高まり今年は中小路、助川、会瀬、宮田学区の5学区合同の開催となりました。

レジャーランドの乗り物は20種類あり、当日は全て乗り放題の

百年塾のH27年度事業着々と

ひたち国際文化まつりに初出展 学校部会

11月11～15日シビックセンターで、ひたち国際文化まつりが開催されました。百年塾学校部会の参加は今回が初めてです。部会で主催する市内小中学校の「姉妹都市とのEメール交換による交流活動」ではNZ(ニュージーランド)との国際交流活動の写真パネル12枚



をアトリウムで展示。また「まちへのラブレターのNZ絵画」作品29点をギャラリーに展示しました。

ひたち国際文化まつりは、国際交流活動を推進している団体等が連携し、世界各国の文化を広く市民に紹介し、国際交流・異文化に関する理解を深めてもらうことを目的としています。参加団体は、国際交流ボランティアネットワークさくら、日立市日中友好協会、日立ユネスコ協会等々です。

来場者はNZの絵の特徴など

話の輪が広がっていました。

小木津山ジオハイキング

産業部会

11月14日、百年塾とジオネット日立との共催で小木津山ジオハイキングが開催されました。小木津山自然公園には日本で数少ない太古のカンブリア紀の地層が観察されます。

かつて日本は大陸の一部でしたが、約2000万年前に分離移動を始め、日本海を隔てて今日の日本列島が形成されました。これらの地殻変動により日立市の裏山、多賀山地南部には日本最古の5億年前の地層が分布しています。これだけ広範囲に観察される地域は日



ジオ案内人の説明に太古を感じて

本では唯一ここにしかない貴重な地質遺産で、2011年には日本ジオパーク（JGN）から「茨城県北ジオパーク」として認定されています。

ジオパークとはこうした地質遺

産を核とし、その地域の生態学・考古学、歴史・文化などを巻き込み地域振興に結び付ける活動で、ユネスコの世界遺産と同様の認定を目指すものです。

当日は雨模様にもかかわらず23名の市民が参加、大昔に繁栄した生物を想像しながら岩石の説明を受けました。紅葉を愛でながらの学習とハイキングに皆さん楽しい一時を味わったことと思います。

ひたち市民カレッジ8期生修了 ネットワーク部会

10月21日「ひたち市民カレッジ」修了式が、茨城キリスト教大学キアラ館にて行われ、第8期の受講者28名が5ヶ月間のカリ



それからの活動に期待

キュラムを終えました。

本カレッジは、茨城キリスト教大学や市内の公共施設を会場に、一般教養、まちづくり、ボランティア活動、自主企画などのカリキュラムがあり、受講者が一つのクラスとして活動することで、仲間としての絆も出来ます。来年度も6月に開校を予定していますので、あなたも受講してみませんか。

新市民教授登録

2015.10月～12月に登録の方(敬称略)

- 榎村淳 砂沢町 (健康麻将)
- 山野利子 助川町 (健康麻将)
- 石川和子 森山町 (健康麻将)
- 本橋嘉信 諏訪町 (健康麻将)
- 菊池庸子 西成沢町

(英語学習および会話)

- 笛吹美智子 水戸市仙波町
(スクエアダンス)
- 亀山志郎 茨城町
(スクエアダンス)
- 愛場康博 国分町 (特許調査)
- 小沼康子 本宮町
(ヒップホップダンス、エアロビクス)

お詫びと訂正

10月20日の「ひろば122号」3ページの【国際絵画展】で市長賞:福島駿(豊浦中)と記載の(豊浦中)は正しくは(日立一高附属中)でした。訂正してお詫びいたします。

■百年塾サロン(窓口)では以下の業務を行っています

- 推進委員の受付
- 市民教授の登録
- 講座・講演の受付
- 市民教授の紹介
- 生涯学習に関する相談

■ひたち生き生き百年塾推進本部 事務局

日立市教育委員会 生涯学習課 ☎0294(23)9150 FAX 22-0465

百年塾サロン(事務局) ☎0294(23)9165 FAX 24-5200

〒317-0064 日立市神峰町1-6-11 日立市教育プラザ

ホームページ <http://www.net1jway.ne.jp/iki100j/>

E-mail iki100j@net1jway.ne.jp



「百年塾ひろば」は小・中学校に配布のほか、公共施設等においてあります。

家族やご近所、知り合いの人みんなで見てください。